

## 第 1 回検討会以降の委員意見について

## 【第 1 回検討会における意見】

No.	委員意見等	事務局対応案
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>放射線教育についてリニューアル後のイメージは。 (山口 座長)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の展示構成の検討状況を踏まえながら検討したい。放射線教育はコミュタン福島が設立当初から大切にしているのが最大の特徴であるため、そうした部分を十分意識し検討したい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の展示等について、来館者の想定は小学 4 年生くらい子どもを想定していたが、リニューアル後の想定は。 (高村 委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニューアル後も小学校 4、5 年生の子どもがわかりやすく楽しみながら学べる施設としたい。また、大人も十分楽しめる施設とし、たくさんの方に来館して頂きたい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の更新以降のリニューアルの予定は。 (山口 座長)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の検討の中で考えていきたい。なお、今回の更新においては、デジタルサイネージ等の映像技術を用いた展示を検討しており、コンテンツの更新を考えていきたい。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の課題、具体的に言えばいまだ 3 万人を超える人たちが 10 年たってもまだ故郷に帰れていない現実や自治体ごとに復興の進捗状況にギャップ（多くの町村で除染が完了している一方、帰還困難区域を多く抱えている大熊町や双葉町は除染が手つかずなど）がある。そういった復興が進んでいるプラスまだまだ多くの課題が実はあるという現実をしっかりと観て理解していただくという展示にすることが若い世代の方が自分の事として考えられるいい機会になるのではないかと思う。 (高村 委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ資料 1-2 に反映（①あゆみシアター）。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>車椅子を利用される方なども展示物を見やすいような工夫をお願いしたい。 (田崎 委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な展示物を製作する際に十分配慮したい。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs は 2030 年までの目標となる。その先のことを考えながら自分事化につながるよう展示更新を行う必要がある。 (田崎 委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs の何に貢献できるのかをしっかりと結びつけながら展示更新を検討していきたい。</li> </ul>

7	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内の震災関連施設とお互いが補完できるような展示としてほしい。 (田崎 委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島県の震災後の姿をどのように伝えるか、その中でコミュタン福島が今回の展示更新で何を伝えていくかを検討していきたい。引き続き御助言等をお願いしたい。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs は環境だけではないため、様々な視点からどのように環境や福島を見ていくかといった点が今後につながると考えられるため、環境創造エリアではなく未来創造エリアに配置したらいかがか。 (井上 委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ資料 1-2 に反映 (②マッピングふくしま)</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが将来こういう職業について福島を創ることに貢献したいといったキャリアパスにつながるエリアが必要では。 (池辺 委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ資料 1-2 に反映 (⑤バーチャルラボツアー)</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示の映像などを見て“原発に依存しない”というフレーズが何回も出てくる。なぜ福島県は原子力に頼らずに再生可能エネルギーを一生懸命推進しようとしているのか背景をしっかりと説明すべき。 (池辺 委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ資料 1-2 に反映 (①あゆみシアター)。</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ放射性物質について我々は学ばないといけないのか、放射線は被爆するとどういうリスクがあるのかという人体に対する影響、そういうリスクを知ったうえで放射線というのは様々な分野でも利用されるという応用の部分、我々が科学技術を使って豊かな生活をつくってきたという前提となる部分についての内容が薄いと感じた。 (池辺 委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境回復エリアの内容を検討する際に十分検討したいと考えております。引き続き御助言等をお願いしたい。</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究機関の研究成果の一部でも放射能が今どのように環境中を巡っているのかということがわかっているというのは非常に重要な知見である。このあたりもお伝えできればいいのでは。 (池辺 委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ資料 1-2 に反映 (③未来創造インフォストリーム)</li> </ul>

【第1回検討会後の意見】

No.	委員意見等	事務局対応案
13	<p>放射線リスクと科学技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現行展示では放射性物質と放射線の物理的な性質の情報は充実しているが、加えて放射線被ばくによる人体への影響についての情報提供が必要ではないか。特に低線量被ばくによる発がんリスクの上昇について。ヨウ素 131 の内部被ばくによる甲状腺発がんリスクも含む。</li> <li>リスクの提示とともに、放射線の物理的性質をよく知ったうえで、医療応用などの技術として利用していることを伝える。</li> <li>科学技術はリスクを知ったうえで慎重に利用しなければならないことを伝えることが大事。特に原子力技術は原爆という厄介な技術をも生み出したものであり、常にリスクを意識して技術適用には慎重さが求められることを伝える。</li> </ul> <p>(池辺 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ参考資料3に反映(②マッピングふくしま)</li> <li>また、環境回復エリアの内容を検討する際に十分検討していきたい。引き続き御助言等をお願いしたい。</li> </ul>
14	<p>放射性物質の環境動態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放射性物質の環境動態について主要研究結果を示すのがよいのではないか。土壌中下方への移動、森林生態系内の循環、河川から海洋への移動、海水中の汚染度、海底土中の汚染など。</li> <li>ロシアなど山菜の汚染、生物への汚染(浮き魚、底魚の違い)や、植物の形態異常など生物への影響についても研究結果を示したい。</li> </ul> <p>(池辺 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ資料1-2に反映(③未来創造インフォストリーム)</li> </ul>
15	<p>原発事故が県民に与えた影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事故後の県民への健康影響についても定量的に示したい。震災関連死、避難所生活にともなうメタボ率の上昇、精神的ストレス度の統計データなど。</li> <li>県民健康調査の甲状腺検査結果についてもまとめて示したい。</li> <li>その他県民健康調査によって得られた重要なデータがあれば示したい。</li> </ul> <p>(池辺 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境創造センターの役割を踏まえ未来創造エリアや環境回復エリアでの展示の有無について引き続き検討したい。</li> </ul>

16	<p>これからの地域のありかたの物語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境創造のコーナーがあまり印象に残らないのは、展示内容が自分ごととしてとらえられないからであろう。「原発に依存しない福島」を作り上げるといふステートメントの背後にあるストーリーをもっと語ると良いのではないか。すなわち、原発に依存してきた地域のありかたを振り返り、そのような方法ではなく、福島がもともと持っている資源を活かした地域産業の振興と、それによって新しいアイデンティティを構築したいんだというナラティブを紡いで示すことで、来場者が自分も貢献したくなるような心持になりながら観覧することができるのではないか。</li> <li>SDGsの文脈を展示更新の際に加えることはよいが、自分事化ができなければ記憶に残らない展示で終わってしまう恐れがある。SDGsを福島の文脈で語り、来場者個人個人のストーリーにつなげる工夫が必要ではないか。</li> </ul> <p>(池辺 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ資料1-2に反映（①あゆみシアター）。</li> <li>また、②未来創造エリア マッピングふくしまの“課題と未来ビジョンの共有”において、福島が抱える課題について、来館者が共有できる様なコンテンツの制作を検討したい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ資料1-2に反映（②マッピングふくしま）</li> <li>なお、②未来創造エリアにおいて福島及び地球を取り囲む環境の課題について認識し、③環境回復エリア、④環境創造エリアにおいて、知識を深め、自分たちができることを学び、自分事化につなげるよう検討したい。</li> </ul>
----	--	---

【資料事前照会時の意見】

No.	委員意見等	事務局対応案
17	<p>資料1-2 全体構成</p> <p>2. 未来創造エリアの説明で●「課題」と「取組」の共有 ●課題解決に向けた「未来ビジョン」の提示 と書かれているが、「取組」と「未来ビジョン」は入れ替えておいた方がよいのでは。</p> <p>(池辺 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ修正。</li> </ul>
18	<p>資料1-2 展示見学を通して獲得してほしい視点（ゴール）</p> <p>「未来創造の取組」というコンポーネントが他の展示とつなぐハブになっているように描かれているが、ハブ（要）となるべきは「課題と未来像の共有」のところであると思う。</p> <p>※別添参照</p> <p>(池辺 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、展示コンテンツの詳細を検討中であるため、御意見を踏まえ「未来創造エリア」をハブ（要）となるよう修正しました。</li> </ul>

19	<p>資料 1-2 ①プロローグ あゆみシアター</p> <p>右 5-6 行目「震災後 10 年の間に大きく環境回復した生活圏の情報についてアップデートを行う。」の部分ですが、帰還困難区域が未だ存在し、自宅の場所が帰還困難区域内の人々も数多く残されている状況も併せて示しておく必要があるかと思えます。</p> <p>(池辺 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ資料 1-2 に反映 (①あゆみシアター)。</li> </ul>
20	<p>資料 1-2 ②未来創造エリア マッピングふくしま</p> <p>マッピングふくしまは、ビジョンが複数あり、選択してみられるようですが、テーマの選択ができたり、滞在時間でも選択できるのでそれが良いと思います。例えば、ショートバージョンを見たいとき、どのテーマの組み合わせになりますか？</p> <p>(田崎 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツを具体化していく際に、滞在時間やテーマの組み合わせ等についても具体的に検討していきたい。</li> </ul>
21	<p>資料 1-2 ②未来創造エリア マッピングふくしま</p> <p>ここが要の展示になるかと思えます。現在の案では、テーマ 1→2→3 のつながりがやや悪いかと思いました。ここで示すべきメッセージとしては、以下のようなものが良いかと思えます。</p> <p>① 科学技術を使った人間の営みが、我々にとってかけがえのない森の恵み・大地の恵み・海の恵みを奪い去った。(原発事故によって豊かな福島が奪われた。それを科学技術の利用の仕方への反省につなげる。原発事故によって気づかされたということ。)</p> <p>② グローバルな環境に目を転じると、これまでの人間活動が、私たちの生存基盤である地球環境を大規模に破壊してきたことに気づく。(これまでの人間活動のあり方全般に対する反省)</p> <p>③ 私たち人類は、地球環境の恵みの中でこそ、豊かに暮らしている存在であることを改めて心に刻み、人とあらゆる生命・自然が共生する福島の未来ビジョンを示す。</p> <p>(池辺 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツを具体化していく際に、具体的に検討していきたい。引き続き御助言をお願いしたい。</li> </ul>

22	<p>資料 1-2 ③未来創造エリア 未来創造インフォストリーム</p> <p>③未来創造エリアは、p2の「未来創造の取組」の中身を示しているということだと思います。そうであれば、「人とあらゆる生命・自然が共生する福島の未来ビジョン」への取組を多角的に示す必要があるかと思います。人にフォーカスして、それぞれの人が抱えている「福島の未来ビジョン」への想いも表現できるとよいと思いました。取り上げる人は、研究者にウェイトを置くのではなく、農業従事者、漁業従事者、商店主、メーカー企業、教育者など多様な立場から、様々なアプローチで「福島の未来ビジョン」へ貢献する姿を見せることで、来場者ひとり一人が、自分の姿をそこに投影して、それぞれが「福島の未来ビジョン」の実現のためにどのように貢献したいか（子供だったら将来どのような職業について福島の未来づくりに貢献したいか）ということに思いをはせる機会を提供できるのではないのでしょうか。</p> <p>(池辺 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 御意見を踏まえ、カテゴリー及びコンテンツについて検討していきたい。引き続き御助言をお願いしたい。</li> </ul>
23	<p>資料 1-2 ④環境回復エリア ふくしま情報マルシェ</p> <p>環境回復について包括的に示すことをめざすならば、ここでは放射能汚染の状況について、陸域（森林、河川、湖沼、市街地、田畑）および海洋環境の状況を定量的に示すとともに、農林水産業などへの影響と、その回復状況、食の安全確保対策など、多岐にわたるデータを示す必要があるかと思います。</p> <p>(池辺 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ “ふくしま情報マルシェ”は、展示内容を様々な物に入れ替えることができることが特徴のため、御意見を踏まえコンテンツを検討していきたい。</li> </ul>
24	<p>資料 1-2 ⑤環境回復エリア バーチャルラボツアー</p> <p>環境創造センターの研究を知る機会になり素晴らしいと思います。壁に映し出される映像はどのような内容や時間配分になっているのでしょうか？平日と土日祝日では違いがあると思います、また人がいる時といない時の工夫はありますか？</p> <p>(田崎 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、コンテンツとして「環境創造センターの概略」、「研究室/施設訪問」、「質問コーナー」、「訪問コーナー」の製作を検討しています。平日と土日祝日の運用や案内人（アテンド）がいない際の運用等を含めて今後内容を検討していきたい。</li> </ul>
25	<p>資料 1-2 ⑤環境回復エリア バーチャルラボツアー</p> <p>陸域・海域・生態系における放射性物質の環境動態など、環境創造センターをはじめとする研究成果は、こちらのエリアで詳細を展示するとよいのではないのでしょうか。展示内容を比較的手軽に入れ替えられるような展示仕様にして。</p> <p>(池辺 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 御意見頂いた内容は現在“未来創造インフォストリーム”において対応を考えているが、コンテンツについては引き続き検討していきたい。引き続き御助言をお願いしたい。</li> </ul>

26	<p>資料 1-2 ⑥環境創造エリア 探る！ふくしまの環境の今 ジオラマ上のマークに焦点を合わせる、とありますが来館者がどうすることを意味していますか？ (田崎 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者はモニター等をジオラマ上の確認したい内容などに焦点を合わせることを想定している。焦点を合わせた先の事象についてクイズや詳細な説明をモニター上に展開する。</li> </ul>
27	<p>資料 1-2 ⑦環境創造エリア 救え！ふくしまのいきものたち 絶滅危惧種を探す内容になっていますが、絶滅危惧種ではないものの、危ぶまれる種も沢山あるかと思えます、それらも取り上げる予定はありますか？ (田崎 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絶滅危惧種のみではなく、県内に生息する生き物まで視野に入れコンテンツの内容を検討したい。</li> </ul>
28	<p>資料 1-2 ⑧環境創造エリア エネルギークリエイター 砂の形状の変化で風力発電や水力発電ができる体験は楽しく学べそうです。遊んでいてたまたま出来るのもよいでしょう、また、展開例を示しそれに挑戦することもあると良いと思います。 (田崎 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ、楽しく学べる展示物としていきたい。</li> </ul>
29	<p>資料 1-2 ⑨環境創造エリア ぐるぐるマーケット トークンとはどんなものでしょうか？この展示コーナーはどんな事をするのかを、どう伝えるか、こどもにもわかるように伝える事が大切だと思います。ただ遊ぶことにならないような工夫があると良いですね。商品を持ち帰ることのないような工夫はどうされますか？ (田崎 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トークンとは、今回検討している展示物の体験を始めるための器具（例えばコインなど）を想定している。 今回検討している展示においては、“資源循環”について体験ができるよう商品の取扱も含め検討を進めていきたい。</li> </ul>
30	<p>資料 1-2 ⑥環境創造エリア 探る！ふくしまの環境の今 ⑥⑦⑧⑨の環境創造エリアは、未来創造エリアで提示された「人とあらゆる生命・自然が共生する福島未来ビジョン」を実現するために、「<b>福島の魅力</b>を自分たちの手で創っていく」ことを来場者が考える、特に子供たちにとって重要な展示エリアになろうかと思いました。 ⑥では、「福島魅力を創造するために、活用することの出来る地域資源とはなんだろうか？」そして「その地域資源を使って、福島魅力をどのように創っていくことができるだろうか？」を、この環境創造エリア全体で考えて欲しい、ということ伝える展示とするとよいと思います。 (池辺 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ、体験の内容を検討したい。</li> </ul>

31	<p>資料 1-2 ⑦環境創造エリア 救え！ふくしまのいきものたち        ⑧環境創造エリア エネルギークリエイター        ⑨環境創造エリア ぐるぐるマーケット</p> <p>⑦⑧⑨の空間を使って、福島が持っている様々な地域資源を取り上げて、それぞれを深く探究するコーナーと位置付けるとわかりやすいと考えます。</p> <p>⑦は福島ならではの自然環境（福島の固有種など）という地域資源        ⑧は福島ならではの太陽光・風・水・地熱などの自然エネルギーという地域資源        そこで        ⑨にリデュース・リユース・リサイクルの3Rの話が入っているのは唐突感があります。「福島の魅力を自分たちの手で創っていく」の一部としての「地域資源の探索」という統一したコンセプトでコンテンツを考え直してはいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">(池辺 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ⑦“救え！ふくしまのいきものたち”については、絶滅危惧種のみではなく、県内に生息する生き物まで視野に入れコンテンツの内容を検討したい。</li> <li>・ 本県は震災以降ごみ排出量が急増し、以降高止まりが続き、2019年度の排出量は全国ワースト2位、また、リサイクル率も全国ワースト2位となっている。そのため、特に若い世代を対象とした資源循環に向けた普及啓発等が必要と考えており、⑨“ぐるぐるマーケット”は、現行も展示している資源循環のコンテンツをより楽しく体験しながら学べ、本県特有の課題解決につながるよう更新案を検討した。御意見を踏まえ環境創造エリアの展示内容について検討したい。引き続き御助言をお願いしたい。</li> </ul>
----	---	--

